

で働く方が多い現状です。また、検診等の保健的な面では、保健所や保健婦さんの方々にお世話をかけているようですが、精神的な面、例えば親は子に対してどうあるべきかといった心のふれあい等について今後強調されていくことが望ましいのではないかと思います。小さいからあぶないとか無理だと言うのではなくて、いろいろなものに関心をもたせる心がまえが親には必要ではないかと感じております。

中原 三才児の頃の教育というのは、のちまでも影響が大きいので、絵本なども大きな絵で子供にもはっきり見える夢のあるものを親と一緒に見て、歌なども時には歌ってあげる。そういうことがこの時代の子供にはとてもプラスになるのではないかと思います。



中原典子さん

長瀬 三才児教育のことができましたが、町や保健所では精神面のことで何か指導されているのでしょうか。私の場合、中学校勤務ですからほとんど人格形成のできあがった子供との接触が多いのですが、見ていると小さい時の精神的なものが大きくひびいているような感じがします。

教育長 三才児までの教育です。これは、やはり主として家庭における一つの教育の取組みが考えられるわけです。三才児までの子供さんをもっておられるお母さん並びにお父さんの教育というもの



入江教育長

を中心に考えていかなければいけないと考えています。公民館としては保育学級等の講座をもって取り組みをしております。

三才児までの教育が子供達の性格作り将来大変重要な影響をあたえているといわれていますが、それがはたして家庭でどのように実践されているか、また、大事なということはわかっているが、家庭においては過保護になったり、あるいはまた忙しさのあまり放任されたりまた、無関心になるとかそのような傾向があるのではないかと心配しています。

酒井 三才児までの教育というのは、町の方でやっていただくという以前の問題で、やはり両親が家庭での教育が大事であるという感覚を早く持って家庭の中で実践していく以外にないんじゃないかと考えます。

中原 最近ある集会で、あるお母さんが子供におやつを食べさせて

いる時、隣の子供にもそれをあげたんですが、その子供はもらってもなにも言わず、また、お母さんの方も「それはどうしたの」と聞くだけなんです。なぜこういう時、そのお母さんは隣のお菓子をもらった人に「まあ、すみません。ありがとう」と言えなかったらどうかと私は思います。やはり、そういう機会をとらえては、自分の孫ではなくてもその場で言うべきだなあとつくづく思うと同時に、お母さん方もそういうことを一つ勉強していただきたいと思っています。

長瀬 いまの話ですけど、親が変わっているような気がするんです。例えば中学生でありながら便所の下駄一つそろえない、くつがちやんとぬげないといった基本的なしつけが家庭でされていないんです。それから中原さんがいわれたようなありがとう、すみませんとという言葉がでないんですよ、その辺の所のしつけというのは、小さい時にやかましく言わないとできないんじゃないかと思えますし、又最近の親も何をどう教えたらいいのかわからないんじゃないかと思えます。

町長 今お話のように現在、町内のはほとんど子供が保育所に入所していますので、いかに保育所が重要かと云うことです。私自身が過保護の子供ということについて一番思うことは、最近、奥さんなども勤め、でたり内職をするという関係で、家庭の立場から考えて、やはり親と子供との顔をあわせる時間が戦前なんか比べて大変少なくなっ



保育所入所式

ています。それで父親にしろ母親にしてもそれを補うために結局子供のほしい物をなんでも買ってやるのかいような面がでたり、しつけの指導が積極的に行けないという感じがしてならないわけはどうでしょうか。

松井 一つには家族構成があるんじゃないかと思うんです。最近では核家族が進み、家庭にお年寄りがいない家庭が多くなっています。それで礼儀にしてもお年寄りがいれば、時代を経た適切な指導を孫にできるんですが、それができなくて親から娘へ、娘から孫へとそういうものが伝わっていかないんじゃないかという気がしてなりません。

町長 確かにおっしゃるとおりです。いろいろな父親、母親にかわらぬ面もおじいちゃん、おばあちゃんがかやっていることは多いと思えますが、現実の問題として、お年

寄りがない家庭ではどのように育てるかということが問題になってくるわけです。

酒井 昨年、家庭教育セミナーで山口大学の教授が教育は学校にまかせて、親はしつけとか社会のルール、道徳とかいっただものに責任を負いなさいという話をされましたが、私はやはり親がそういう感覚をもつことが大事ではないかと考えます。また、そうすればお年寄りがいない家庭においてもそれなりにしつけができるんじゃないかと思っております。

新中 保育所の近所に住んでいますが、近頃新入園児が先生の手をとるような状況をよくみるわけです。やはり保育所にはいる前にはこれだけということをはきちんとしつけておくことが必要ではないかと思えます。また、これはある人から聞いたんですが、教育というのは両手を合わせていただきすという食事の基礎ができていないとなにごとにつけてもうまくいかないというのを聞きました。それがそこらでとらえて考えます。

司会 心身を健全に育てていく目標の中で、基礎的生活習慣の育成が大事であるとか、三才児までは親の大きな影響をうけるとか、あるいは過保護により子供の自立ができないとかいろいろの発言がございましたが、三才をすぎた保育所に入りますと今度は集団生活、そのなかでの自立というふうなことでできます。これらについてご意見をお願いします。

松井 私は、昨年小学校の高学年の担任でありましたから、はつきり